

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称 施策I-1-1  
企業の競争力強化

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

産業振興課長 馬庭 正人

電話番号

0852-22-5291

事務事業の名称	石州瓦産業経営基盤強化支援事業	
目的	(1) 対象	県西部（浜田市、大田市、江津市）に所在する石州瓦製造企業と、その企業により組織されている石州瓦工業組合
	(2) 意図	石州瓦産業の自立的発展に向けて、各企業の経営基盤を強化する
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>石州瓦産業は、県西部において経済・雇用情勢に大きな影響を与える重要な地場産業</li> <li>石州瓦産業に対する販売・生産・組織・開発等の課題解決に向けた支援、住宅の新築・増改築時に石州瓦を屋根材として使用する施主に対する助成、産業技術Cによる技術支援等を実施</li> </ul>	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	県内で石州瓦を屋根材として使用する施主への助成件数	目標値	425.0	425.0	425.0	425.0	件
	式・定義	石州瓦利用促進事業の採択件数	取組目標値					
			実績値	440.0				%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					%
			達成率	-	-	-	-	

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	50,527	55,250
うち一般財源 (千円)	50,527	32,017

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<p>【石州瓦出荷枚数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全国：[平成26年度] 47,325千枚 → [平成27年度] 43,622千枚 [対前年度比：92.2%]</li> <li>うち島根県：[平成26年度] 6,858千枚 → [平成27年度] 5,724千枚 [対前年度比：83.5%]</li> </ul> <p>【住宅着工件数・木造】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全国：[平成26年度] 486,058戸 → [平成27年度] 511,146戸 [対前年度比：105.2%]</li> <li>うち島根県：[平成26年度] 2,518戸 → [平成27年度] 2,219戸 [対前年度比：88.1%]</li> </ul>
--

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> <li>近年の住宅スタイルへの石州瓦採用を促進するため、歩留まり向上等に向けた生産技術習得等の支援を実施し、平板瓦の平成27年度出荷枚数は前年度より795千枚増加（対前年度比125.8%）した。</li> </ul>
---

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <p>出荷枚数が最盛期（平成8年度）の約20%にまで減少</p>
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新築住宅着工件数の伸び悩み</li> <li>住宅屋根面積の減少傾向</li> <li>他産地との競争</li> <li>軽量金属屋根材など他屋根材の攻勢</li> </ul>
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石州瓦産業の技術力や設備（高温焼成、廃熱等）を活用した新技術開発や新分野進出</li> <li>平板瓦の生産技術の向上</li> <li>石州瓦の強みである耐凍害、耐塩害のPR</li> <li>陶器屋根材の他屋根材に対する優位性の立証・PR</li> </ul>

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> <li>平板瓦の生産技術の確立に向けた支援を行う。</li> <li>石州瓦の主力市場である西日本市場の維持を前提として、販売戦略、生産、研究開発等の課題解決に向けた総合的支援を行う。</li> <li>石州瓦産地の地元である県内における住宅新築・増改築での石州瓦採用の拡大を図るため、利用促進に向けた支援を行う。</li> <li>中長期的には陶器屋根材市場は成熟・衰退傾向にあるため、既存の技術や設備を活用した新技術開発や新分野進出に向けた支援を行う。</li> </ul>
--

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）

--